



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月1日

上場会社名 東ソー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4042 URL <https://www.tosoh.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 桑田 守
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理室長 (氏名) 米澤 啓 (TEL) 03-5427-5123
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	526,649	22.9	45,026	△31.1	64,654	△6.2	42,040	△8.7
2022年3月期第2四半期	428,515	30.5	65,322	270.2	68,954	283.6	46,031	293.0

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 56,858百万円(7.4%) 2022年3月期第2四半期 52,923百万円(270.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	132.10	132.04
2022年3月期第2四半期	144.68	144.59

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	1,172,979	800,388	63.6
2022年3月期	1,087,667	759,724	65.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 746,004百万円 2022年3月期 708,916百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	30.0	—	50.0	80.0
2023年3月期	—	40.0	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	40.0	80.0

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,110,000	20.8	83,000	△42.4	102,000	△36.4	66,000	△38.9	207.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期2Q	325,080,956株	2022年3月期	325,080,956株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	6,746,451株	2022年3月期	6,873,424株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期2Q	318,256,899株	2022年3月期2Q	318,169,068株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項等は、添付資料の4ページをご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算説明資料を当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 10
(セグメント情報等)	P. 11
3. 補足情報	P. 12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年9月30日)の世界経済は、各国で新型コロナウイルス感染防止対策と経済活動の両立が進み回復途上にありましたが、ウクライナ問題や中国ゼロコロナ政策が長期化する中、供給面の制約や資源価格の高騰、急激なインフレ、金融引き締めなどが景気下押し要因となっており、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような情勢下、当社グループの連結業績については、売上高は、ナフサ等の原燃料価格の上昇による販売価格の上昇や円安進行により、5,266億円と前年同期に比べ981億円(22.9%)の増収となりました。営業利益は、ナフサや石炭等の原燃料高の影響が販売価格上昇の影響を上回ったことでの交易条件の悪化により、450億円と前年同期に比べ203億円(31.1%)の減益となりました。経常利益は、円安進行に伴う為替差益により営業外損益が改善し、647億円と前年同期に比べ43億円(6.2%)の減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、420億円と前年同期に比べ40億円(8.7%)の減益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

石油化学事業

エチレン、プロピレン及びキュメンは、定修年による生産量の減少に伴い出荷が減少いたしました。また、ナフサ価格の上昇により、エチレン及びプロピレンの製品価格は上昇いたしました。海外市況上昇等の影響を受け、キュメンの製品価格は上昇いたしました。

ポリエチレン樹脂は、国内輸出ともに出荷が減少いたしました。ナフサ価格及び海外市況の上昇を反映して製品価格は上昇いたしました。クロロプレンゴムは、国内輸出ともに出荷は前年同期並みに推移いたしました。また、需給の逼迫や原材料価格高騰を背景に製品価格は上昇いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ185億円(21.1%)増加し1,062億円となり、営業利益は、エチレン、プロピレン、キュメン等のオレフィン製品やポリエチレン樹脂の出荷減少に加え、ナフサ等原燃料価格上昇に伴う交易条件の悪化により、前年同期に比べ22億円(25.9%)減少し64億円となりました。

クロル・アルカリ事業

苛性ソーダは、生産量の増加に伴い出荷が増加いたしました。また、国内価格の是正及び海外市況の上昇により製品価格は上昇いたしました。塩化ビニルモノマーは、生産量の増加に伴い出荷が増加いたしました。塩化ビニル樹脂は、出荷が減少いたしました。国内価格の是正等により製品価格は上昇いたしました。

セメントは、需要低調により国内出荷が減少いたしました。国内輸出ともに製品価格は上昇いたしました。

ジフェニルメタンジイソシアネート(MDI)は、生産量の増加に伴い国内外で出荷が増加いたしました。ヘキサメチレンジイソシアネート(HDI)系硬化剤は、海外市況の上昇により製品価格が上昇いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ463億円(29.0%)増加し2,064億円となり、営業利益は、ナフサや石炭等の原燃料価格上昇に伴う交易条件の悪化により、前年同期に比べ280億円(99.5%)減少し1億円となりました。

機能商品事業

エチレンアミンは、中国上海でのロックダウンが影響し出荷が減少いたしました。海外市況の上昇により製品価格は上昇いたしました。

計測関連商品は、液体クロマトグラフィー用充填剤の出荷が堅調に推移いたしました。診断関連商品は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、中国向けで体外診断用医薬品の出荷が減少いたしました。国内向けで新型コロナウイルス遺伝子検査試薬の出荷が増加いたしました。

ハイシリカゼオライトは、前年同期並みの出荷となりました。ジルコニアは、欧州向け歯科材料用途を中心に出荷が増加いたしました。石英ガラスは、半導体需要の拡大に伴い出荷が増加いたしました。電解二酸化マンガンは、米国における需給緩和の影響で出荷が減少いたしました。価格是正により国内外の製品価格は上昇いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ208億円（18.9%）増加し1,309億円となり、営業利益は、石英ガラス等の出荷増加、為替影響等による取引条件の改善や在庫受払差の改善により、前年同期に比べ72億円（32.2%）増加し293億円となりました。

エンジニアリング事業

水処理エンジニアリング事業は、電子産業分野において国内外の大型案件の工事受注が好調に推移し、工事案件を高い水準で抱えていたことなどから、売上高が増加いたしました。

建設子会社の売上高は減少いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ96億円（18.2%）増加し624億円となり、営業利益は前年同期に比べ29億円（57.3%）増加し79億円となりました。

その他事業

商社等その他事業会社の売上高は増加いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ28億円（15.6%）増加し208億円となりました。営業利益は前年同期に比べ1億円（7.9%）減少し13億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、受取手形、売掛金及び契約資産の増加等により、前期末に比べ853億円増加し1兆1,730億円となりました。

負債は、短期借入金の増加等により、前期末に比べ446億円増加し3,726億円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により、前期末に比べ407億円増加し8,004億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の事業環境については、世界経済の減速に伴う需要縮小や、様々な要因により変動する原燃料価格や海外製品市況、為替レートの動向などが業績変動リスクになると考えており、環境の変化に対して迅速かつ柔軟に対応しつつ、販売数量の維持・拡大、コスト低減、製造設備の安定操業など、収益確保に向けた施策を実施してまいります。

通期の業績予想については、2022年8月2日に公表した予想値を下記の通り修正いたしました。

なお、通期業績における下期の前提は、国産ナフサ価格を68,500円/KL、為替レートを142円/US\$としております。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 1,130,000	百万円 101,000	百万円 111,000	百万円 74,000	円 銭 232.55
今回発表予想 (B)	1,110,000	83,000	102,000	66,000	207.38
増減額 (B-A)	△20,000	△18,000	△9,000	△8,000	
増減率 (%)	△1.8	△17.8	△8.1	△10.8	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	918,580	144,045	160,467	107,938	339.23

詳細については、本日公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	161,516	115,712
受取手形、売掛金及び契約資産	259,631	301,149
商品及び製品	119,145	150,983
仕掛品	15,535	26,800
原材料及び貯蔵品	56,983	68,768
その他	30,125	46,673
貸倒引当金	△659	△703
流動資産合計	642,278	709,383
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	114,632	125,861
土地	68,599	68,185
その他（純額）	143,474	146,782
有形固定資産合計	326,706	340,829
無形固定資産		
	6,945	10,510
投資その他の資産		
投資有価証券	59,323	58,400
退職給付に係る資産	30,251	30,717
その他	22,940	23,588
貸倒引当金	△778	△451
投資その他の資産合計	111,737	112,255
固定資産合計	445,389	463,596
資産合計	1,087,667	1,172,979

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	113,441	136,038
短期借入金	63,662	96,935
未払法人税等	34,584	18,311
引当金	15,309	11,638
その他	42,881	49,616
流動負債合計	269,878	312,539
固定負債		
長期借入金	28,243	27,811
引当金	1,348	2,224
退職給付に係る負債	20,787	21,175
その他	7,685	8,839
固定負債合計	58,064	60,051
負債合計	327,943	372,591
純資産の部		
株主資本		
資本金	55,173	55,173
資本剰余金	45,327	45,224
利益剰余金	601,344	627,434
自己株式	△10,018	△9,833
株主資本合計	691,826	717,998
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,479	9,614
繰延ヘッジ損益	△25	△28
為替換算調整勘定	759	12,948
退職給付に係る調整累計額	5,876	5,470
その他の包括利益累計額合計	17,089	28,005
新株予約権	178	89
非支配株主持分	50,629	54,294
純資産合計	759,724	800,388
負債純資産合計	1,087,667	1,172,979

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	428,515	526,649
売上原価	302,567	410,910
売上総利益	125,948	115,738
販売費及び一般管理費	60,625	70,712
営業利益	65,322	45,026
営業外収益		
受取利息	160	264
受取配当金	1,150	1,312
為替差益	832	14,744
持分法による投資利益	961	1,272
その他	1,325	3,102
営業外収益合計	4,429	20,696
営業外費用		
支払利息	547	613
その他	250	454
営業外費用合計	798	1,068
経常利益	68,954	64,654
特別利益		
固定資産売却益	110	962
投資有価証券売却益	147	60
特別利益合計	258	1,022
特別損失		
固定資産売却損	36	16
固定資産除却損	1,187	1,410
投資有価証券売却損	1	-
投資有価証券評価損	2	-
減損損失	0	3
特別損失合計	1,228	1,430
税金等調整前四半期純利益	67,983	64,247
法人税等	20,406	19,719
四半期純利益	47,576	44,527
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,545	2,486
親会社株主に帰属する四半期純利益	46,031	42,040

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	47,576	44,527
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	828	△865
繰延ヘッジ損益	△65	△3
為替換算調整勘定	4,762	13,191
退職給付に係る調整額	△331	△404
持分法適用会社に対する持分相当額	153	412
その他の包括利益合計	5,346	12,331
四半期包括利益	52,923	56,858
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	50,762	52,956
非支配株主に係る四半期包括利益	2,160	3,902

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	67,983	64,247
減価償却費	19,946	20,904
減損損失	0	3
退職給付に係る資産負債の増減額	△591	△722
受取利息及び受取配当金	△1,310	△1,577
支払利息	547	613
為替差損益 (△は益)	△47	△733
持分法による投資損益 (△は益)	△961	△1,272
投資有価証券評価損益 (△は益)	2	—
固定資産売却損益 (△は益)	△73	△945
固定資産除却損	1,187	1,410
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△21,343	△32,778
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△6,217	△49,152
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,377	15,105
その他	△14,797	△17,076
小計	49,702	△1,974
利息及び配当金の受取額	1,637	1,953
利息の支払額	△565	△601
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△23,202	△34,308
営業活動によるキャッシュ・フロー	27,573	△34,930
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△25,523	△29,418
固定資産の売却による収入	96	1,656
投資有価証券の取得による支出	△448	△566
投資有価証券の売却及び償還による収入	408	89
貸付けによる支出	△1,587	△1,955
貸付金の回収による収入	1,500	1,914
その他	△1,697	△1,499
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,251	△29,780
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	863	32,562
長期借入れによる収入	370	2,922
長期借入金の返済による支出	△6,183	△5,863
配当金の支払額	△10,165	△15,880
非支配株主への配当金の支払額	△424	△597
その他	89	△127
財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,450	13,017
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,336	6,021
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△12,792	△45,672
現金及び現金同等物の期首残高	148,397	160,812
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	316	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	135,921	115,140

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用して計算した結果を計上しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	石油化学	クロル・ アルカリ	機能商品	エンジニ アリング				
売上高								
外部顧客に対する 売上高	87,674	160,055	110,013	52,809	17,962	428,515	—	428,515
セグメント間の内部 売上高又は振替高	49,959	19,576	7,650	8,015	28,466	113,668	△113,668	—
計	137,634	179,632	117,663	60,824	46,429	542,184	△113,668	428,515
セグメント利益	8,578	28,113	22,183	5,002	1,444	65,322	—	65,322

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫、検査・分析、情報処理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	石油化学	クロル・ アルカリ	機能商品	エンジニ アリング				
売上高								
外部顧客に対する 売上高	106,201	206,400	130,851	62,427	20,769	526,649	—	526,649
セグメント間の内部 売上高又は振替高	79,788	28,218	12,431	16,820	31,672	168,931	△168,931	—
計	185,989	234,618	143,282	79,248	52,442	695,580	△168,931	526,649
セグメント利益	6,353	138	29,335	7,868	1,330	45,026	—	45,026

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫、検査・分析、情報処理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

2022年度第2四半期連結決算概要2022年11月1日
東ソー株式会社

(1)業績

(単位:億円)

	2021年度 第2四半期	2022年度 第2四半期	増 減	2021年度	2022年度(予想)
売 上 高	4,285	5,266	981	9,186	11,100
営 業 利 益	653	450	△203	1,440	830
経 常 利 益	690	647	△43	1,605	1,020
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益	460	420	△40	1,079	660
1株当たり四半期(当期)純利益	144円68銭	132円10銭	△12円58銭	339円23銭	207円38銭

(2)指標

	2021年度 第2四半期	2022年度 第2四半期	増 減	2021年度	2022年度(予想)
為替[TTM期中平均](円/\$)	109.8	134.0	24.2	112.4	138.0
為替[TTM期中平均](円/EUR)	130.9	138.8	7.9	130.6	139.4
国産ナフサ価格(円/KL)	50,600	83,150	32,550	56,625	75,825

設 備 投 資 額	235	307	72	480	770
減 価 償 却 費	180	194	14	376	410
研 究 開 発 費	99	102	2	199	230
期 末 有 利 子 負 債	1,225	1,247	23	919	1,790
金 融 収 支	8	10	2	10	14
自 己 資 本 比 率 (%)	64.2	63.6	△0.6	65.2	62.0
期 末 従 業 員 数 (人)	14,068	14,223	155	13,858	14,400

(注)億円未満は四捨五入

(3)トピックス

- 2022年度 冬 予定 臭素の生産能力を増強
- 2024年 夏 予定 分離精製剤の生産能力を増強
- 2025年 夏 予定 スパッタリングターゲット製造設備の生産能力を増強
- 2026年 春 予定 バイオマス発電所を新設

(4) 事業セグメント別増減内訳

(単位:億円)

		2021年度 第2四半期	2022年度 第2四半期	増 減	増 減 要 因			
					数量差	価格差	交易条件	固定費差他
石油化学	売上高	877	1,062	185	△ 146	331	—	—
	営業利益	86	64	△ 22	△ 17	—	△ 37	32
クロル・アルカリ	売上高	1,601	2,064	463	44	419	—	—
	営業利益	281	1	△ 280	54	—	△ 343	10
機能商品	売上高	1,100	1,309	208	△ 8	216	—	—
	営業利益	222	293	72	12	—	23	37
エンジニアリング	売上高	528	624	96	71	25	—	—
	営業利益	50	79	29	29	—	0	0
その他	売上高	180	208	28	10	18	—	—
	営業利益	14	13	△ 1	△ 1	—	0	0
合計	売上高	4,285	5,266	981	△ 28	1,009	—	—
	営業利益	653	450	△ 203	76	—	△ 357	78

(注)億円未満は四捨五入

(5) 業績予想

(単位:億円)

		2021年度	2022年度(予想)	増 減	2022年度(予想) 内訳	
					上期	下期
石油化学	売上高	1,772	2,218	446	1,062	1,156
	営業利益	157	151	△ 5	64	88
クロル・アルカリ	売上高	3,616	4,225	609	2,064	2,161
	営業利益	695	△ 58	△ 753	1	△ 59
機能商品	売上高	2,262	2,759	497	1,309	1,451
	営業利益	435	541	105	293	247
エンジニアリング	売上高	1,163	1,460	297	624	836
	営業利益	123	171	48	79	92
その他	売上高	373	437	65	208	229
	営業利益	31	25	△ 6	13	11
合計	売上高	9,186	11,100	1,914	5,266	5,834
	営業利益	1,440	830	△ 610	450	380

(注)億円未満は四捨五入